

10月1日（火）からの消費税増税への準備に関する消費者アンケート
「日用品・酒の買いだめ」や「ポイント還元の準備」等
増税前に、何らかの準備をする人が6割以上
「食費の節約」や「外食の前倒し消費」は比較的意向が低い

株式会社リクルートライフスタイル（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：浅野 健）の外食市場に関する調査・研究機関「ホットペッパーグルメ外食総研」（<https://www.hotpepper.jp/ggs/>）は、2019年10月1日（火）から実施される予定の消費税増税に際しての節約意向や増税前の準備について、消費者へのアンケートを実施しました。その結果を発表します。

【要約】

POINT1 増税に際して、節約を意識している人は約7割。 . . . P3

- 今後の節約を「とても考えている」と「少しは考えている」の合計である「節約派」は68.9%。
- 最も多かった30代女性（77.8%）を筆頭に、女性の全年代で7割を超えており、女性の節約志向が強い。逆に、50・60代男性では「非節約派」が4割以上。

POINT2 増税後節約したい費目、「飲酒費」は4位。トップは「光熱費」。 増やしたい費目、「食費」は4位。トップは「レジャー・趣味費」。 . . . P4-5

- 増税以後「節約したい」費目で、外食関連では「食費（飲酒費を除く）」（36.1%）が9位、「飲酒費（家の中・外とも含む）」（40.6%）が4位。トップ3は、1位「光熱費」（54.8%）、2位「衣類費」（46.0%）、3位「家電・通信費」（44.5%）。
- 増税以後「増やしたい」費目は全体的にスコアが低い。外食関連では「食費（飲酒費を除く）」（2.0%）が4位。トップ3は、1位「レジャー・趣味費」（5.0%）、2位「教育、習い事の費用（子どもの費用含む）、子育て関連費」（3.9%）、3位「交際費」（2.2%）。

POINT3 増税前に、何らかの準備をする人が6割以上。 「日用品・酒の買いだめ」や「ポイント還元の準備」が多い。 . . . P6

- 増税準備について「何も準備するつもりはない」が37.8%。一方、6割以上の人は何らかの準備をする予定。
- 外食の「前倒し」には関心薄い。一方、「買いだめ」と「事前の準備」には一定の関心。「食料品・酒以外の日用品の買いだめをしておく」37.1%、「酒の買いだめをしておく」20.7%。「ポイント還元があるキャッシュレス各社のキャンペーン内容などを調べる・比較検討する」20.8%、「キャッシュレス利用でポイントが還元されるカードやアプリなどを申し込む」19.3%、「外食店を含む中小店舗でポイント還元される制度や方法を調べる」18.9%、等。

【本件に関するお問い合わせ先】
<https://www.recruit-lifestyle.co.jp/support/press>

調査概要と回答者プロフィール

- ◎調査名 外食市場調査(2019年7月度)
- ◎調査方法 インターネットによる調査
首都圏、関西圏、東海圏における、夕方以降の外食および中食のマーケット規模を把握することを目的に実施した調査(外食マーケット基礎調査)の中で、10月の消費増税に向けての節約意向や、様々な費目に対する節約意識、消費増税までにやっておきたいこと、消費増税施行と軽減税率適用による食生活の変化などを聴取。
- ◎調査対象 首都圏(東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、茨城県)、関西圏(大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、滋賀県)、東海圏(愛知県、岐阜県、三重県)に住む20~69歳の男女(株式会社マクロミルの登録モニター)

■事前調査

- ①調査目的 本調査の協力者を募集するために実施
- ②調査時期 2019年6月20日(木)~2019年7月2日(火)
- ③調査対象 首都圏、関西圏、東海圏に住む20~69歳の男女(株式会社マクロミルの登録モニター)
- ④調査内容 本調査への協力意向、普段の外食頻度、普段の中食頻度
- ⑤配信数 424,003 件
- ⑥回収数 31,947 件
- ⑦本調査対象者数 15,359 件

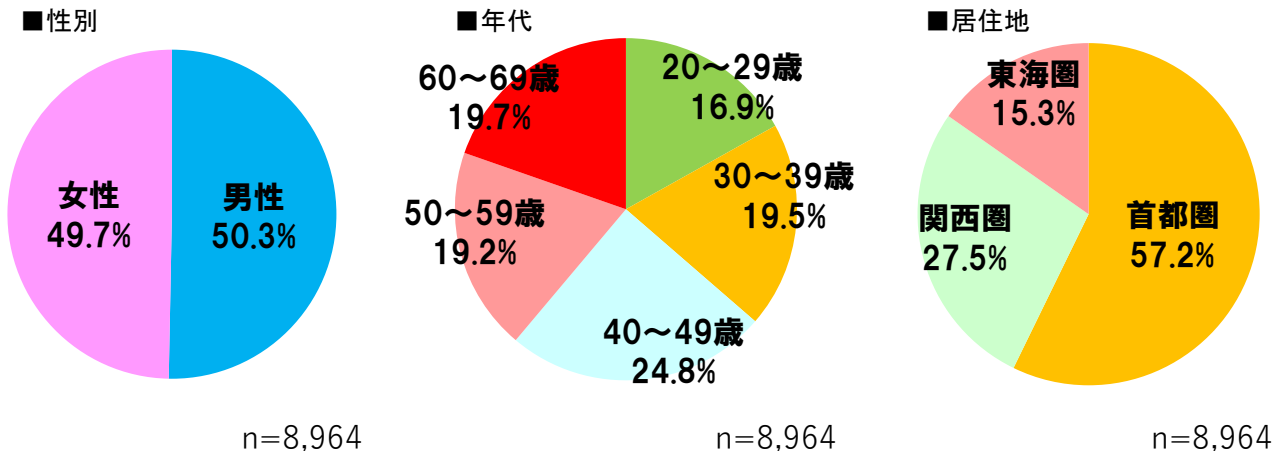
- ◆本調査対象者の割付について
- ・本調査では、回答者の偏りをできるだけなくすために、割付を行って回収した。
 - ・性年代別10区分×地域別25区分(首都圏地域13区分、関西圏地域8区分、東海圏地域4区分)=250セルについて、平成29年人口推計(総務省)に基づき割付を行った。
 - ・本調査の目標回収数は、首都圏4,000s、関西圏2,000s、東海圏2,000s、合計8,000sとした。

■本調査

- ①調査方法 ・事前調査で本調査への協力意向が得られたモニターの中から、脱落率を加味して設定した必要数をランダムに抽出し、本調査の案内メールを通知。
- ②調査期間 2019年8月1日(木)~2019年8月8日(木)
- ③配信数 12,105 件
- ④回収数 9,030 件 (回収率 74.6%)
- ⑤有効回答数 8,964 件 (首都圏 4,562 件、関西圏 2,348 件、東海圏 2,054 件)
- ※回収された票のうち、自由回答コメントから、趣旨に合わないと思われる票を無効としたほか、事前調査時の普段の外食・中食頻度の回答と、本調査時の1カ月間の外食・中食回数が著しく乖離している場合、事前調査時の住所と、本調査時の住所が、圏域を越えて変わっている場合を無効とした。

- ◆集計方法について
- ・本調査結果は、平成29年人口推計(総務省)における割付(性年代別10区分×地域別25区分=250セル)別の構成比に合わせてサンプル数を補正したウェイトバック集計を行っている。
 - ・補正後のサンプル数は次の通り。
3圏域・計 8,964 件(首都圏: 5,130 件、関西圏: 2,464 件、東海圏: 1,370 件)

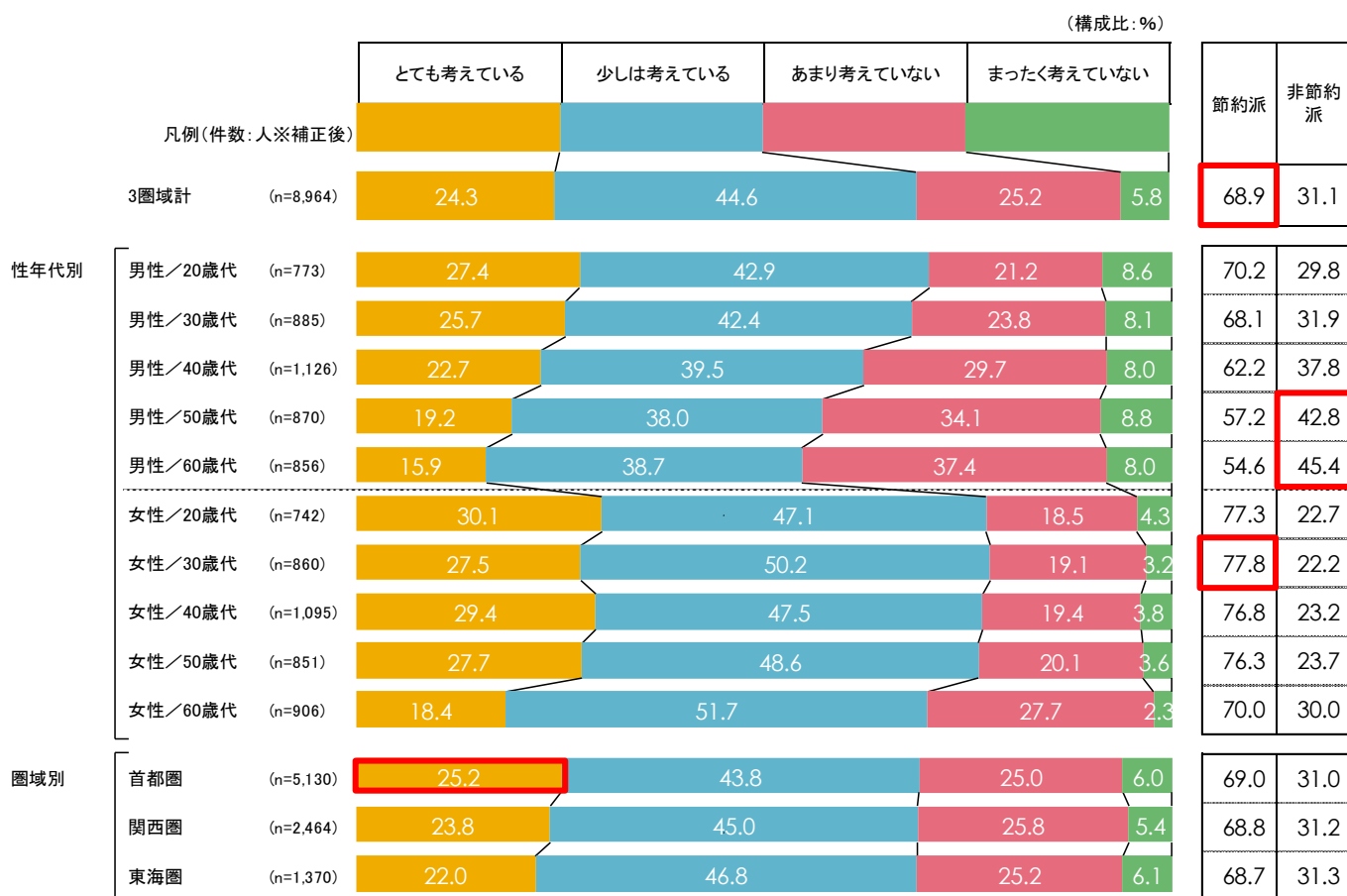
◆回答者プロフィール(ウェイトバック後)



1. 消費税増税に際して、50・60代男性では「非節約派」が各4割以上

10月1日（火）からの消費税増税に際して、今後節約することを考えているかについて聞いた。今後の節約を「とても考えている」と「少しは考えている」の合計である「節約派」は68.9%。逆に、「あまり考えていない」と「まったく考えていない」の「非節約派」も31.1%いた。性年代別に見ると、「節約派」は、最も多い30代女性（77.8%）を筆頭に、女性の全年代で7割を超えており、女性の節約志向が強いことが分かる。逆に「非節約派」は、60代男性（45.4%）を筆頭に50代男性でも4割を超えるなど、男性が目立った。圏域別には、「節約派」と「非節約派」の数値が大きく違うわけではないが、首都圏では、今後の節約を「とても考えている」人が25.2%であり、他の圏域よりもやや多かった。

■ 10月からの消費税増税に際して、今後節約することを考えているか（全体／単一回答）



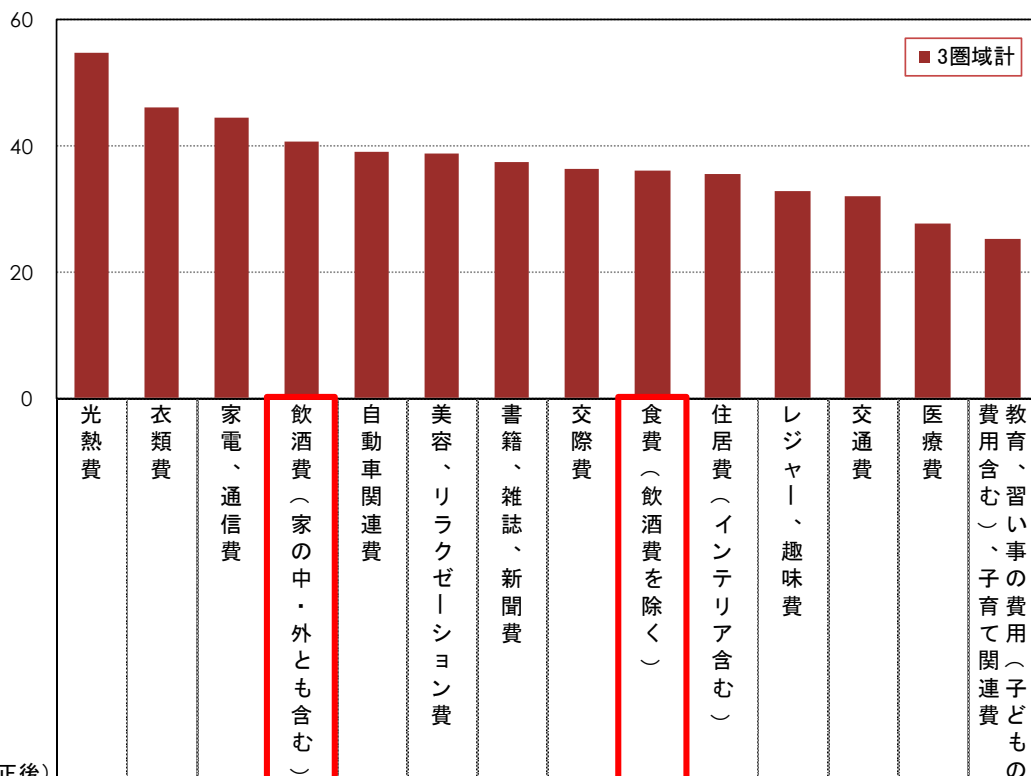
※「節約派」：「とても考えている」「少しは考えている」のいずれかを回答した人を集計
 ※「非節約派」：「あまり考えていない」「まったく考えていない」のいずれかを回答した人を集計

2. 増税後「節約したい」費目、「飲酒費」は第4位。トップは「光熱費」

10月1日（火）からの消費税増税以後、「節約したい」費目について聞いた。外食に関する項目では、「飲酒費（家の中・外とも含む）」（40.6%）が4位、「食費（飲酒費を除く）」（36.1%）が9位であった。トップ3は1位「光熱費」（54.8%）、2位「衣類費」（46.0%）、3位「家電、通信費」（44.5%）。ここでも多くの費目において、男性より女性のスコアが高く、節約志向が強いことが分かる。「飲酒費（家の中・外とも含む）」「食費（飲酒費を除く）」についても、節約派は、20～40代女性で多く、40～60代男性では少ないという結果だった。

■ 10月からの消費税増税以後の考え／「節約したい」費目 （全体／各費目別に「節約したい」と回答した人を集計）

構成比（%）



（件数：人※補正後）

		3圏域計	8,964	54.8	46.0	44.5	40.6	39.2	38.8	37.4	36.5	36.1	35.5	32.9	32.1	27.7	25.3
性年代別	3圏域計	8,964	54.8	46.0	44.5	40.6	39.2	38.8	37.4	36.5	36.1	35.5	32.9	32.1	27.7	25.3	
	男性／20歳代	773	42.6	38.7	36.7	39.1	33.1	33.1	30.4	33.0	37.9	30.7	28.1	35.1	32.0	27.6	
	男性／30歳代	885	47.7	39.0	41.9	39.1	37.1	36.9	36.9	36.9	34.9	32.4	31.3	31.9	29.4	25.5	
	男性／40歳代	1,126	49.8	40.6	40.1	38.5	38.5	37.8	34.3	37.2	31.0	30.8	32.6	30.2	29.8	23.5	
	男性／50歳代	870	49.5	39.1	41.5	34.4	35.9	36.7	36.6	38.0	27.1	32.4	33.3	27.4	24.5	26.5	
	男性／60歳代	856	48.2	40.1	39.7	33.1	40.0	37.7	30.2	39.6	23.3	29.7	34.0	26.6	21.7	27.5	
	女性／20歳代	742	60.7	45.9	50.9	49.9	41.6	42.8	43.9	37.3	50.5	40.2	31.7	44.4	33.3	26.5	
	女性／30歳代	860	63.6	52.0	51.4	48.5	41.2	43.3	43.9	36.9	47.9	39.9	33.4	37.0	27.9	20.8	
	女性／40歳代	1,095	64.7	53.5	51.7	45.4	44.2	42.7	42.5	36.7	42.2	40.9	35.1	33.4	30.9	24.0	
	女性／50歳代	851	65.5	56.1	50.4	44.1	42.6	43.0	43.4	36.1	40.4	43.2	36.2	33.3	29.4	28.9	
女性／60歳代	906	54.6	54.0	40.8	34.9	36.8	34.1	32.2	32.7	28.2	35.5	32.2	24.2	17.9	24.1		
圏域別	首都圏	5,130	54.5	45.5	44.8	41.0	37.8	38.1	37.3	36.8	36.9	35.1	32.6	31.7	27.4	25.2	
	関西圏	2,464	56.2	47.9	45.7	40.2	41.0	40.7	38.8	36.7	34.4	37.1	33.3	32.9	28.6	25.9	
	東海圏	1,370	53.6	44.7	41.4	39.9	41.1	38.2	35.5	35.1	35.9	34.3	33.4	32.2	27.1	24.6	

太字 3圏域計より5ポイント以上高い項目

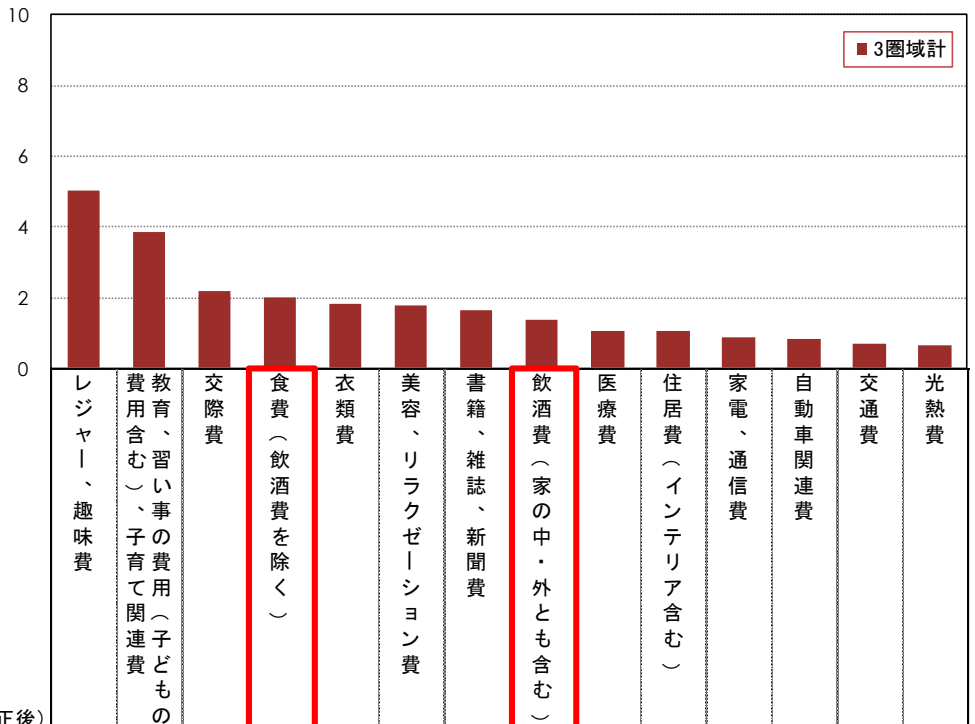
3圏域計より5ポイント以上低い項目

3. 増税後「増やしたい」費目、「食費」は2.0%。トップは「レジャー・趣味費」

10月1日（火）からの消費税増税以後、「増やしたい」費目についても聞いた。節約志向が強い中で、全体的にスコアが低いことがまず挙げられる特徴だ。その中で、外食に関連する費目では、「食費（飲酒費を除く）」が2.0%、「飲酒費（家の中・外とも含む）」が1.4%という結果であった。トップ3は、1位「レジャー、趣味費」（5.0%）、2位「教育、習い事の費用（子どもの費用含む）、子育て関連費」（3.9%）、3位「交際費」（2.2%）であった。「食費（飲酒費を除く）」「飲酒費（家の中・外とも含む）」とも性年代別では、20代男性が最もスコアが高かった。20代男性は他に「レジャー・趣味費」や「交際費」「衣類費」などでも、全体平均よりもかなり高いスコアとなっており、節約を心掛けながらもお金の使いどころについては具体的なイメージができてきている性年代とすることができそう。

■ 10月からの消費税増税以後の考え／「増やしたい」費目 （全体／各費目別に「増やしたい」と回答した人を集計）

構成比(%)



（件数：人※補正後）

		3圏域計	レジャー、趣味費	教育、習い事の費用（子どもの費用含む）、子育て関連費	交際費	食費（飲酒費を除く）」	衣類費	美容、リラクゼーション費	書籍、雑誌、新聞費	飲酒費（家の中・外とも含む）」	医療費	住居費（インテリア含む）」	家電、通信費	自動車関連費	交通費	光熱費
3圏域計		8,964	5.0	3.9	2.2	2.0	1.8	1.8	1.7	1.4	1.1	1.0	0.9	0.8	0.7	0.6
性年代別	男性／20歳代	773	9.7	4.2	5.7	5.5	5.0	3.3	4.5	4.2	3.5	3.5	3.2	2.6	2.5	2.0
	男性／30歳代	885	7.0	6.4	5.0	3.9	2.7	1.9	3.4	2.7	1.3	2.2	1.5	1.8	1.6	1.7
	男性／40歳代	1,126	5.3	5.2	1.8	1.4	1.2	1.4	1.4	1.5	0.9	0.4	1.2	0.4	0.4	0.4
	男性／50歳代	870	4.2	2.3	0.8	0.7	0.8	0.9	1.2	0.8	0.3	1.1	0.5	1.0	0.4	0.2
	男性／60歳代	856	3.7	1.5	0.6	1.3	0.3	0.4	1.4	0.7	1.4	-	0.3	1.1	0.6	0.1
	女性／20歳代	742	6.1	5.2	3.3	2.4	3.9	4.4	3.1	1.9	1.2	1.1	1.2	0.8	1.0	1.2
	女性／30歳代	860	4.2	7.4	1.9	1.1	2.2	1.7	1.1	0.4	0.9	1.0	0.3	0.5	0.4	0.2
	女性／40歳代	1,095	3.7	4.2	1.2	1.9	1.6	2.1	0.3	0.8	0.6	0.5	0.2	0.5	0.1	0.4
	女性／50歳代	851	3.9	1.4	1.5	1.1	1.1	1.9	0.5	0.5	0.3	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1
	女性／60歳代	906	3.3	0.7	0.8	1.3	0.5	0.7	0.5	0.7	0.8	0.9	0.4	-	0.3	0.5
圏域別	首都圏	5,130	5.1	4.1	2.3	2.1	2.0	1.8	1.9	1.5	1.2	1.2	0.8	0.9	0.9	0.7
	関西圏	2,464	5.2	4.0	2.0	2.0	1.7	1.9	1.4	1.3	0.9	0.7	0.8	0.7	0.5	0.4
	東海圏	1,370	4.4	2.8	1.8	1.8	1.4	1.6	1.2	1.1	0.7	1.0	1.1	0.9	0.5	0.7

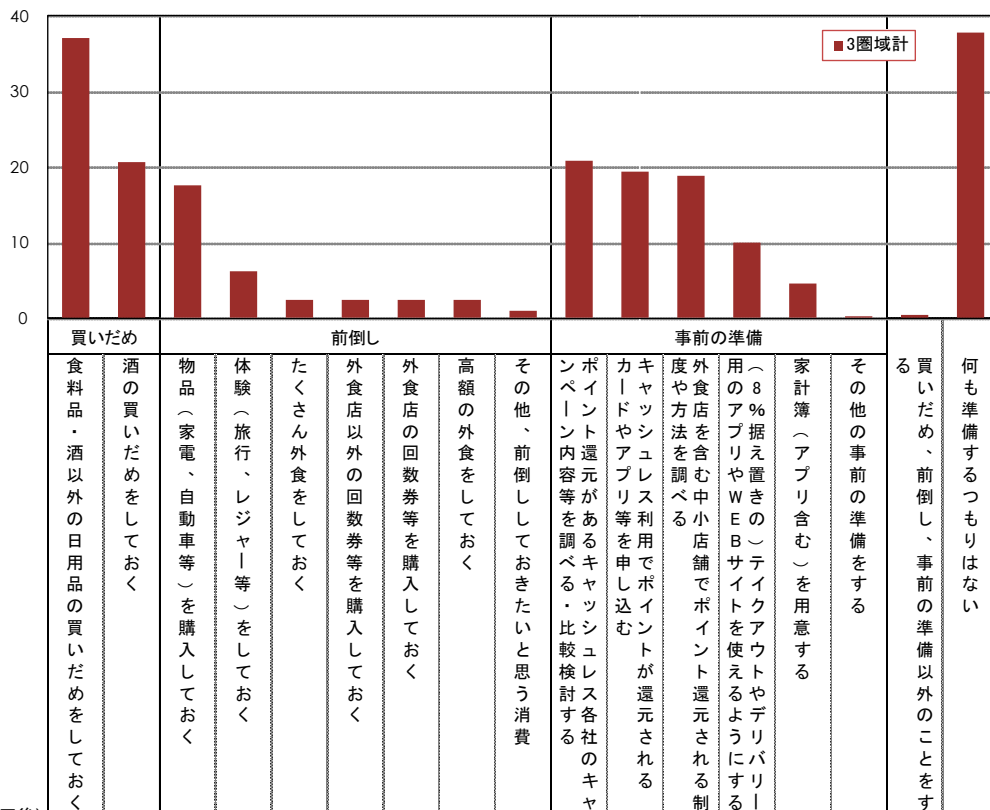
太字 3圏域計より5ポイント以上高い項目

3圏域計より5ポイント以上低い項目

4. 増税前の準備を何らかする人は6割以上。「買いだめ」や「ポイント還元準備」も
 消費税増税の前までにやっておきたいと思うものを聞いた。「何も準備するつもりはない」人が37.8%いるが、逆に、6割以上の人は何らかの準備はするということである。準備の内容は「買いだめ」「前倒し」「事前の準備」に大別して聞いた。「買いだめ」と「事前の準備」には一定の関心があったが、「前倒し」については、特に外食に関連する項目では関心が薄かった。2%の差を気にして外食を「前倒し」する動きは少なそうだ。個別の項目では、最多は「食料品・酒以外の日用品の買いだめをしておく」が37.1%、次いで「ポイント還元があるキャッシュレス各社のキャンペーン内容等を調べる・比較検討する」が20.8%、「酒の買いだめをしておく」が20.7%。また、「キャッシュレス利用でポイントが還元されるカードやアプリなどを申し込む」が19.3%、「外食店を含む中小店舗でポイント還元される制度や方法を調べる」が18.9%等、増税と同時に始まる「キャッシュレス・消費者還元事業」によるポイント還元にも、一定以上の関心が集まった。

■ 10月の消費税増税の前までにやっておきたいと思うもの（全体／複数回答）

構成比(%)



(件数:人※補正後)

		買いだめ	前倒し							事前の準備							何も準備するつもりはない		
		食料品・酒以外の日用品の買いだめをしておく	酒の買いだめをしておく	物品（家電、自動車等）を購入しておく	体験（旅行、レジャー等）をしておく	たくさん外食をしておく	外食店以外の回数券等を購入しておく	外食店の回数券等を購入しておく	高額の外食をしておく	その他、前倒ししておきたいと思う消費	ポイント還元があるキャッシュレス各社のキャンペーン内容等を調べる・比較検討する	キャッシュレス利用でポイントが還元されるカードやアプリ等を申し込む	度や方法を調べる	外食店を含む中小店舗でポイント還元される制度や方法を調べる	用（8%据え置き）のアプリやWEBサイトを使えるようにする	家計簿（アプリ含む）を用意する	その他の事前の準備をする	買いだめ、前倒し、事前の準備以外のことをする	
3圏域計	8,964	37.1	20.7	17.6	6.2	2.5	2.4	2.4	2.4	1.0	20.8	19.3	18.9	10.1	4.7	0.1	0.5	37.8	
性年代別	男性/20歳代	773	32.4	19.8	14.2	6.9	7.9	4.2	5.2	6.7	0.6	19.9	20.9	17.3	10.6	3.5	-	0.4	39.1
	男性/30歳代	885	32.5	20.5	16.0	7.0	3.6	2.7	4.1	4.0	0.4	24.5	26.3	20.4	14.3	5.0	0.1	0.2	39.6
	男性/40歳代	1,126	29.9	22.5	16.1	4.1	1.3	2.2	2.2	1.9	0.7	20.4	19.4	17.3	10.1	3.0	-	0.3	43.3
	男性/50歳代	870	24.9	23.6	14.4	2.5	1.3	1.5	1.9	1.6	0.3	19.6	16.6	15.2	7.0	2.1	-	0.6	47.6
	男性/60歳代	856	26.2	23.3	15.3	3.1	0.7	1.9	2.1	0.3	1.0	18.0	15.5	15.1	8.4	2.4	0.3	1.0	49.4
	女性/20歳代	742	46.3	13.6	20.8	13.6	4.9	2.7	2.3	2.9	1.5	21.5	20.7	24.9	12.9	12.1	0.4	0.2	27.4
	女性/30歳代	860	48.1	18.0	24.4	11.5	4.3	2.8	2.8	2.9	1.3	24.5	25.8	26.7	14.7	9.8	0.2	0.4	26.7
	女性/40歳代	1,095	48.4	22.0	20.8	5.9	1.3	1.3	0.9	2.2	1.0	20.6	17.5	19.3	9.6	4.3	0.2	0.5	29.4
	女性/50歳代	851	43.3	20.9	21.3	4.6	1.0	3.2	2.2	1.4	1.8	23.7	18.7	18.4	8.4	3.8	0.3	1.1	34.0
	女性/60歳代	906	39.3	20.7	13.1	4.5	0.4	2.2	1.4	0.8	1.2	16.1	12.8	15.5	5.7	2.3	0.1	0.4	40.8
圏域別	首都圏	5,130	36.9	20.6	17.2	5.8	2.7	2.4	2.3	2.3	1.1	21.1	19.6	18.6	10.1	4.9	0.2	0.4	38.8
	関西圏	2,464	38.2	21.4	18.7	7.0	2.2	2.3	2.3	2.3	0.8	20.4	19.0	20.4	10.1	4.7	0.1	0.6	35.9
	東海圏	1,370	35.8	19.8	17.3	5.9	2.5	2.5	3.0	2.8	0.8	20.7	19.1	17.4	10.0	3.6	0.1	0.8	37.7

太字 3圏域計より5ポイント以上高い項目

■ 3圏域計より5ポイント以上低い項目